

2018 年 11 月 22 日

「第 19 回 住友理工チャリティーコンサート」開催 ～地域の皆様へ感謝の思いを込めて～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、社長：松井徹）は 11 月 18 日（日）、「第 19 回 住友理工チャリティーコンサート」を犬山市民文化会館（愛知県犬山市）で開催しました。



本コンサートは、2000 年に当社設立 70 周年を記念して初めて開催して以来、継続して実施しており今回で 19 回目を迎えました。当社の社会貢献活動における「まちづくりへの貢献活動」の一環として、また、当社周辺地域の皆様への感謝の思いを込めて、公募・抽選を通じて、無料でご招待しているイベントです。

今回の公演も、当社が支援をしている中部フィルハーモニー交響楽団（愛知県小牧市）と、世界的に高い評価を受けている秋山和慶氏（中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督／首席指揮者）を指揮者に迎え、「ドイツ音楽名曲コンサート」と題して、第 1 部ではモーツァルトの「歌劇『魔笛』序曲」を演奏。また、国内外でさらなる活躍が期待されるピアニストの佐藤麻理氏にゲストとして登場いただき、同「ピアノ協奏曲第 21 番八長調 K.467」を披露。続いて、第 2 部ではブラームス作曲「交響曲第 1 番八短調 Op.68」をお届けしました。

1,000 人を超える来場者からは「素敵な音楽を聴く機会をいただいて、とても心豊かな時

間を過ごすことができた」など、喜びの声をいただきました。

また、当社の活動に共感し、会場でチャリティーとして募金いただいた約 30 万円は「住友理工あったか基金」の一部と合わせて、宮城県南三陸町における東日本大震災の被災者支援として「あったか切符[※]」を発行し、災害復興住宅にお住まいの高齢者のケアやコミュニティづくりに役立てます。

今後も当社は、地域社会の一員であることを常に自覚し「良き企業市民」として、継続的な社会貢献活動を通じて、社会との信頼関係を築き、豊かな社会づくりに寄与してまいります。

※「あったか切符」とは

住友理工と住友理工グループの従業員が金銭的ボランティアとして拠出しているファンド「一般財団法人 住友理工あったか基金」を活用し、東日本大震災復興支援として行っている継続的支援の仕組みです。南三陸町の復興企業家への支援を通じて、長引く仮設住宅や災害公営住宅にお住まいの高齢者の生活を向上させるとともに、地元の活性化を目指すことを目的としています。

現在の南三陸町は、避難所から仮設住宅の移転によってこれまでとは違った課題が生まれており、新たなコミュニティ醸成の仕組みが重要となってきています。これまでの「あったか切符」は、高齢者に無償でお弁当を届けるサービスとして行ってきました。今後は、南三陸町社会福祉協議会の協力を得て、地域コミュニティ形成のための活動をしている地域活動団体の活動時に利用していただけるよう支援の方法を変え、“皆食”(家族や友人、地域や職場の人たちと一緒に食事をすることを指した造語)による、高齢者の孤立やひきこもりを防ぐことを目的とし実施します。さらなる地元経済の循環と住民のコミュニティ形成の促進に向け、持続可能な地域を目指した復興支援として取り組んでいきます。

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>